

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	製図Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時限	前期 月曜3限	教室名	302教室
担 当 教 員	佐々木 北斗	実務経験と その関連資格	ロボット開発4年勤務、工業高校5年勤務、専門学校4年勤務。専門はロボット(メカ)			
《授業科目における学習内容》						
製図Ⅰでは図面の読み方・描き方の基礎を学んだ。製図Ⅱでは立体物からの作図・寸法記入など、より実践的な課題に取り組み図面の読み書きをしっかりと身に着ける。また製図Ⅰでは学びきれなかった製図記号や製図法も習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% 平常10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(図解力・製図力おちゃのこさいさい 図面って、どないかくねん！LEVEL0) ・筆記用具(シャープペン(0.5mmと0.3mm推奨)、消しゴム、ものさし) 						
《授業外における学習方法》						
授業課題の完成、身の回りの工業製品の採寸や図面化、テキストの反復練習						
《履修に当たっての留意点》						
製図は情報を伝える手段なので線1本1本丁寧な作図を心がけてください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	製図Ⅰの取得度確認。線の書き分け、三角法の確認	教科書 筆記用具	製図Ⅰの復習 (主に三角法、寸法記入、製図記号)	
		各コマに おける 授業予定	製図Ⅰの復習			
第2回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	立体物の図面化をとおして製図法をより理解する	教科書 筆記用具	図面を引くので教科書の三角法、寸法記入の予習、復習。	
		各コマに おける 授業予定	立体図形の図面化(1)			
第3回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	立体物の図面化をとおして製図法をより理解する	教科書 筆記用具	図面を引くので教科書の三角法、寸法記入の予習、復習。	
		各コマに おける 授業予定	立体図形の図面化(2)			
第4回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	立体物の図面化をとおして製図法をより理解する	教科書 筆記用具	図面を引くので教科書の三角法、寸法記入の予習、復習。	
		各コマに おける 授業予定	立体図形の図面化(3)			
第5回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	立体物の図面化をとおして製図法をより理解する	教科書 筆記用具	図面を引くので教科書の三角法、寸法記入の予習、復習。	
		各コマに おける 授業予定	立体図形の図面化(4)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	はめあい(P121-)の習得	教科書 筆記用具	教科書P121はめあい予習
		各コマにおける授業予定	はめあい公差の読み書き		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	表面性状(P146-)の習得	教科書 筆記用具	教科書P146表面性状を予習。
		各コマにおける授業予定	表面性状記号の読み書き		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	溶接記号の習得	教科書 筆記用具	教科書外の課題ですので、準備不要。
		各コマにおける授業予定	溶接図面における溶接記号の読み書き		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	図面を3DCAD上で立体化することを通じて製図法をより理解する	教科書 筆記用具	ソリッドワークスを使用するので操作方法の予習をしてください
		各コマにおける授業予定	図面の立体化(1)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	図面を3DCAD上で立体化することを通じて製図法をより理解する	教科書 筆記用具	ソリッドワークスを使用するので操作方法の予習をしてください
		各コマにおける授業予定	図面の立体化(2)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	図面を3DCAD上で立体化することを通じて製図法をより理解する	教科書 筆記用具	ソリッドワークスを使用するので操作方法の予習をしてください
		各コマにおける授業予定	図面の立体化(3)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	図面を3DCAD上で立体化することを通じて製図法をより理解する	教科書 筆記用具	ソリッドワークスを使用するので操作方法の予習をしてください
		各コマにおける授業予定	図面の立体化(4)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	部品図と組立図の役割と書き方の取得	教科書 筆記用具	図面を書くので製図法を予習してください。
		各コマにおける授業予定	部品図と組立図の読み書き(1)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	部品図と組立図の役割と書き方の取得	教科書 筆記用具	図面を書くので製図法を予習してください。
		各コマにおける授業予定	部品図と組立図の読み書き(2)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	全授業の振り返り	教科書 筆記用具	教科書と配布プリントの復習 □
		各コマにおける授業予定	総合演習を行なう		